

解答は別紙の解答欄に記入しなさい。

I 次の文章（イ～ハ）を読んで、文中の空欄（A～O）に当てはまる語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

（イ） 朝廷の官職は、早くから実質を失ったものが多いものの、武士にとっては権威のうらづけとなるものであった。陸奥の安倍氏を攻めた源頼義は（ A ）に任じられ、北九州に勢力を広げた大内義隆は（ B ）を望んで与えられた。朝廷によって武家の棟梁と認められた平宗盛や源頼朝は（ C ）となった。また公家社会にも権勢を振るった足利義満は（ D ）の待遇を得た上で、（ E ）にまで昇りつめた。

- | | | | | |
|--------|----------|---------|---------|-----------|
| 1 准三后 | 2 検非違使別当 | 3 征夷大將軍 | 4 鎮守府將軍 | 5 陸奥出羽按察使 |
| 6 大宰大貳 | 7 右近衛大將 | 8 太政大臣 | 9 鎮西探題 | |

（ロ） 栄西らによってもたらされた臨済禅が盛んになると、都でも（ F ）の支援を受けた建仁寺、（ G ）が庇護した東福寺、（ H ）と縁の深い南禅寺が創建された。さらに（ I ）も天龍寺を建立し、万寿寺を加えて、京都五山の制が定まった。足利義満が（ J ）を創建すると、南禅寺は五山の上に列せられることになった。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 持明院統 | 2 摂関家 | 3 北条時頼 | 4 足利義詮 | 5 大覚寺統 |
| 6 鎌倉幕府 | 7 足利尊氏 | 8 建長寺 | 9 円覚寺 | |

（ハ） 室町時代から戦国時代にかけては朝廷が衰微する一方、地方の武士が公家の文化に憧れて、学芸の継承に大きな役割を果たした。長門・周防の大名大内政弘は『新撰菟玖波集』の編纂を助力し、撰者の（ K ）は城下町の（ L ）を訪ねている。美濃の（ M ）は、（ N ）の秘事を（ K ）に伝えて古今伝授の祖とされた。越前の朝倉氏は清原宣賢を（ O ）に招き儒書を学んでいる。

- | | | | | |
|--------|--------|------|------|------|
| 1 太田道灌 | 2 細川幽斎 | 3 心敬 | 4 宗祇 | 5 歌道 |
| 6 連歌 | 7 一乗谷 | 8 山口 | 9 堺 | |

Ⅱ 次の文章（イ～ハ）を読んで、文中の空欄（A～T）に当てはまる語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

（イ） 明治新政府は、近代的な教育制度を整備するため（ A ）年、文部省を設置し、翌年、学制を定め、6歳以上の男女を（ B ）に通学させることとした。同時に、（ C ）を設置し教員の養成にも意を配った。一方、科学技術者の養成をはかるために、駒場農学校や（ D ）を設立するとともに、1877年には、法学・化学・工学などを教授していた（ E ）と、医学・薬学専門の（ F ）とを統合して（ G ）を設立し、高等教育機関の整備と近代化に努めた。

- | | | | | |
|--------|----------|---------|----------|----------|
| 1 1871 | 2 1873 | 3 尋常小学校 | 4 国民学校 | 5 東京専門学校 |
| 6 専門学校 | 7 東京開成学校 | 8 工学校 | 9 東京帝国大学 | |

（ロ） 一方、産業の発展をはかるため、中央官庁として（ H ）年に（ I ）を、1873年には（ J ）を設置した。（ I ）は（ K ）年に、新橋・横浜間に鉄道を布設し、佐渡、（ L ）などの鉱山を官営事業として経営していった。また、（ J ）は、官営模範工場を設立し、（ M ）年には上野公園で（ N ）を開催するなど、商工業、農業などにおける殖産興業政策をおしすすめていった。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|---------|-------|
| 1 1870 | 2 1872 | 3 1874 | 4 1876 | 5 工部省 |
| 6 農商務省 | 7 生野 | 8 石見 | 9 万国博覧会 | |

（ハ） また、民間の資本家を育成するために、（ O ）業を主体に成長してきた岩崎弥太郎による（ P ）、（ Q ）業を中心に成長してきた（ R ）や小野組、為替会社や通商会社を設立し、大阪商法会議所の初代会頭に就任した（ S ）などに特別の保護を与えた。こうして成長していった資本家は政府との特別な関係から（ T ）と呼ばれている。

- | | | | | |
|-------|----------|-------|--------|--------|
| 1 海運 | 2 金融 | 3 紡績 | 4 渋沢栄一 | 5 五代友厚 |
| 6 前島密 | 7 共同運輸会社 | 8 三井組 | 9 財閥 | |

Ⅲ 次の文章の空欄（A～E）に当てはまる語句を記入しなさい。

江戸時代の日本と朝鮮は、1609年（ A ）約条の締結後、釜山の（ B ）において対馬藩宗氏による実務外交と貿易が行われ、徳川将軍と朝鮮国王との間に対等な外交関係であった。一方、同じく日本と外交関係を維持した（ C ）国は、徳川将軍の就任の際に（ D ）、国王就任の際に謝恩使といった使節の派遣を義務づけられており、これらの使節に対して、江戸幕府は天皇の勅使扱いであった朝鮮通信使とかなりの格差をもって接した。こうした朝鮮通信使の応接のありかたや国王号の使用をめぐり、（ E ）門下の秀才とうたわれた対馬藩の儒者雨森芳洲は、同門の新井白石と激しい議論を展開したことで知られている。

Ⅳ 次の史料（イ・ロ）は、江戸幕府が発布した御触書である。これを読んで、設問に答えなさい。

（イ） a 文字銀同位を以て、掛目五匁ニ定り候銀吹立仰せ付られ候間、有り来りの b 丁銀・小玉銀ニ取り交ぜ、通用致すべき旨、去々酉年相触れ候得共、以来右五匁銀の儀は銀相場ニ拘らず、金壹両ニ六拾目替の積りを以て、金壹分ニ銀三枚、金壹両ニ銀拾貳枚の積り、渡方・請取方滞りなく通用致すべく候。

（ロ） 此度、通用のため吹抜候上銀、（ A ）と唱へ候銀を以て、貳朱の歩判仰せ付られ候間、右歩判八を以て金壹両の積り、 c 文銀ならびに銭共、時の相場の通り滞りなく両替致すべき事。
一、右貳朱銀両替ニ付、切賃の儀是れ又金と同様相心得、取遣り致すべき事。
一、貳朱銀包みの儀は、文字銀と違ひ、銀座に於て包み致し候間、其の通り相心得申すべき事。

（原文を一部修正）

去々酉年：明和2（1765）年。 切賃：両替の手数料。

問1 史料（イ・ロ）が発布された時の将軍は誰か、氏名を記しなさい。

問2 下線a「文字銀」および下線c「文銀」とは、元文元（1736）年に改鑄された銀貨のことである。この改鑄を主導した江戸町奉行は誰か、氏名を記しなさい。

問3 当時の金貨は計数貨幣であったが、これに対して下線b「丁銀・小玉銀」などの銀貨は何と呼ばれるか。

V 次の史料(イ～ニ)はいずれも摂関政治最盛期の貴族の日記の一部である。これらを読んで、設問に答えなさい。

(イ) 長徳四年七月十三日、改元・a改銭の事。件の両事、今に遅引し、人々鬱となす。

(ロ) 寛弘七年八月十三日、b国史を修すること久しく絶ゆ。作続の事、定め申すべし。

(ハ) 長和六年三月十一日、六角小路と福小路に侍る小宅に c清原致信と云う者侍りけり。是、保昌朝臣の郎等なり。しかるに馬に乗る ^{つわもの}兵七、八騎、^{かち}歩の者十余**人**ばかり、囲み来りて殺害しおわんぬ。秦氏元の子、この中にある由を申す。氏元の在所を問うに、d頼親朝臣に相従うものといえり。人々広く云わく「件の頼親、殺人の上手なり。度々この事あり。是、大和国の為頼と云う者を殺害せらるる阿党なり」と云々。

(ニ) 治安三年六月十一日、^{かんだちめ}上達部及び諸大夫、e法成寺の堂礎を曳かしむ。或いは宮中諸司の石、神泉苑の門ならびに乾臨閣の石を取り、或いは坊門、(A)、左右京職、寺々の石を取ると云々。嘆くべし、悲しむべし。言うに足らず。

(原漢文、一部省略・修正)

長徳四年＝西暦998年 寛弘七年＝1010年 長和六年＝1017年 阿党＝仇
治安三年＝1023年 上達部＝公卿

問1 史料(イ・ロ)の日記の執筆者は、三蹟の一人に数え上げられる能筆家で、世尊寺流の祖として知られる人物である。その氏名を記しなさい。

問2 下線aの「改銭」は、実際には行われなかった。最後に実施されたのはこれより40年ほど前のことであるが、その時に発行された銭の名称を記しなさい。

問3 下線bの「国史」の編纂は行われたが、完成には至らなかった。では、完成した「国史」の最後のものは何か。その題名を記しなさい。

問4 下線c「清原致信」の妹は、一条天皇の皇后に仕えた女房で、女流文学者として著名である。彼女が書いた随筆作品の題名を記しなさい。

問5 下線d「頼親」の父は、969年、左大臣源高明を密告して、失脚に追い込んだことで知られる。
(1) その事件の名称と、(2) 頼親の父の氏名を答えなさい。

